様式３(2020.06改)

作成日　令和　2年　8月　3日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390900039
事業所名	グループホーム名古屋熱田の家

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	コロナ禍となる前の1月には、地域活動で馴染みのある神社の神事に自治会の副会長を通じて招かれ、利用者も焼き芋をごちそうとなり、楽しい時間を過ごしています。また3月からは散歩をいったん止めたのですが、ストレスが溜まってきたことが見受けられたため、マスク装着で再開、挨拶程度の交流を続けています。今年に入り、「写真が趣味」というご近所さんを紹介してもらえ、「写真をつかって双方有益なことはできないか」現在模索中で今後の関わり合いが期待されます。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	コロナ禍となり３月の運営推進会議からはメンバーが集まることは休止しています。管理者含め５名前後の職員で話し合った内容をまとめ、メンバーに送付後意見を集約して議事録とする方法で代替としています。職員は時間をつくることに苦労はありましたが、協議の場が増えたことで、備品について見直すことができ「利用者の安心安全に直結するものなら」と新たに購入につながったというメリットもあります。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	コロナ対応については特段行政通達はありませんが、常から「名古屋介護ネット」を確認することを習慣としており、タイムリーに行政意向を把握するとともに、グループホームを県内外に100弱擁する法人からのFAX連絡や、名古屋市内の同法人管理者が集まる会議を通じて、適切な対応につなげています。書面での運営推進会議についても「一方通行にならないように」と法人本部から示唆があり、議事録は市役所へFAXで届けています。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	コロナ禍での面会は自粛としつつも、家族や本人の心情や状態もあるため、状況をみて判断していくという柔軟な対応としています(マスク・除菌・検温・時間といった基本の対策は必須として)。コロナ前から管理者が「こちらからコミュニケーションとるよう努めてほしい」と職員指導してきたことが下支えとなり、大半の家族は電話で日常の様子を伝えることで納得くださっています。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		◎

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	—	—	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎										